・夜泣き石……地域では「去りこ石」と呼んでいる。肴沢から岩井川へ行く左手にあり、俗称「桂へぐり」の東の山根にある大きな岩石で昔は夜な夜なその石の下で乳のみ児の泣き声がしたという。夜泣きをする子どもの母親は、この夜泣き石に願を掛ければ、夜泣きがやむと信じ参拝したものだったという。昔はいつも御初穂があがっていた。

「去りこ石」といわれる理由は、ここ（正式地名は岩井川字空堀）の巨大な岩石が、何百年前の地震かは不明であるが山麓の道路に落ちた。当時の人々が通るのに大変邪魔になっていたが、どうすることもできなかった。たまたま諸国巡行の折に通りかかった弘法大師が経文を唱え「しゃれ」と喝を入れたところ、巨大な立て岩石は転んで現在の位置へおさまり、横たえて猫の背のようになった。